

### 激越性うつ病 (IR)

このセクションでは、過去に2週間以上、または一年以上通して毎月3日間以上、苛立ちの症状発現を経験したことについての質問がある。これらを正確に判断するためには、これらの症状の発現が睡眠・活力・集中力その他の精神的または行動上の障害を伴う点に注意する。これらの症状の発現を訴えた人には、その頻度・程度・生活に与える影響について、またこれら障害に対し専門家による治療などを受けているのであればその内容について質問する。このセクションの期間と症状に関する質問はうつ病のセクションと同様になっている。

**IR4.** これまでに、ほぼ毎月のように、数日以上続けて、とてもイライラしたり、機嫌が悪くて、こうしたその他の問題が同時にあったことが、1年以上続いたことはありますか。

これは複雑な言い回しの質問である。ゆっくり注意しながら読むこと。3つ以上の症状発現があったかについて強調すること。

**IR8m.** 他人を傷つけようと思ったことはありますか？

回答者が質問してきた場合、「傷つける」とは物理的な意味合いより心理的な意味合いを含むと答える（例：他人を困らせる）。

**IR20.** これまでの人生において、苛立ちおよび他の障害の症状発現が一日中、ほとんど毎日2週間以上続いた最初の時のことを思い出して下さい。その時の正確な年齢を思い出せますか？

この質問では「症状発現」の意味するところが重要である。このセクションでは「症状発現」や「このような症状発現」という語が繰り返して出てくる。もしも回答者が語の意味に戸惑っているようであれば、「このような症状発現」という語が、他の障害を伴う苛立ちの症状発現が（数日間/2週間以上）続いた状態を意味するということを説明すること。

### パニック障害 (PD)

このセクションでは日常におけるパニック発作について質問する。スクリーニング部には回答者にパニック障害を認める2種類の質問がある（「恐怖症・パニック発作」「突然の息切れ・動悸など」）これら症状の発現について回答者の回答内容によって言い回しを適当に変える。

うつ状態を正確に判断するためには、これらの発作が突然起き、また多くの生理学的反応を伴う点に注意する。これらの症状の発現を訴える人には、その頻度・程度・生活に与える影響について、またこれら障害に対し専門家による治療などを受けているのであればその内容について質問する。

パニック障害の本質的な特徴は、例えば自動車の運転中など特定の状況下で突然何の前兆なくパニック（不安）発作が起きることである。著しい身体的労作時や致命的状況下での同様の症状はパニック発作とは異なる。

パニック発作は、しばしば身の危険感を伴う**突然の不安感・恐怖・脅え**などによって定義される。発作時に最も多い症状は、息切れ・心悸亢進・胸痛または胸の痛み・窒息感や呼吸困難感・悪心や腹部苦悶・めまい・現実感の喪失・手足のしびれ・体のほてりや悪寒・発汗・卒倒・震え・口内の乾き・死への恐れ・発狂・発作中の自己制御不可能などである。発作は数分から稀に数時間持続する。

パニック発作は以下の二つに分類できる。

- (1) 恐怖症に起因を**限定して**発作を起こすもの
- (2) それ以外に起こすもの

**PD13a. また発作が起こるかもしれないと、しばしば心配することが1ヵ月以上続きましたか。**

この質問に「はい」と答える場合、発作への脅えが頻繁である必要がある。質問を読むとき、面接員は「しばしば」という語を強調する。

## 恐怖症

次の3セクションでは恐怖症の障害に関する質問をする。恐怖症の本質的な特徴は持続性と特定の対象・行動・状況に対する理由なき恐怖とその対象・状況の解消願望といえる。恐怖が実際の危険性と比較して極端に過大であり、また理由がないということを患者が認識している点も特徴である。

生活適応における些細な対象・行動・状況に対する理由なき恐怖はよくあることである。例えば、無害な昆虫やクモなどに遭遇した時でも人は理由なき恐怖を感じることもあるが、その生活に大きな支障をきたすことはない。回避行動や恐怖はときに人に苦痛を強い、その社会的役目や機能を妨害する大きな原因となることがあるが、恐怖症の診断には正当な根拠が求められる。

恐怖症は3つに分けることができる：特定の恐怖・社会恐怖・広場（臨場）恐怖

## 特定の恐怖 (SP)

このセクションでは日常生活における、動物・水・流血・閉所・高所・飛行機の各恐怖症についての質問をする。これらの6種の恐怖症を別々に質問する。恐怖症を正確に判断するために、これらの恐怖症が持続的で障害的である点に注意する。これらの症状の発現を訴える人には、その頻度・程度・生活に与える影響について、またこれら障害に対し専門家による治療などを受けているのであればその内容について質問する。

**SP3a., SP5a., SP7a., SP9a.** これまでに（特定の恐怖症）に出会った時は、ほとんどいつも、とても動揺したり、とても不安に感じた時期がありましたか。

「出会った」とは、実際にそのような状態にある、または単にそう感じたという両方の意味である。

出口のない所について、次のことを強く怖れたかどうかおききします。

**SP9g.** パニックの発作が起こって、助けてもらえないかもしれないこと（を恐れましたか）。

「パニック発作」は突然起こる恐怖・不安の発作である。

**SP16.** あなたは（特定の恐怖）に恐怖がありました。これまでに、こうしたことに対するあなたの恐怖あるいは避けることのせいで、仕事、社会的生活、あるいは人間関係に、どれくらい支障をきたしましたか。—全くないですか、少ししかありませんか、いくらかですか、たくさんですか、あるいは非常にですか。

回答者が「対象によって感じ方は違う」というのであれば、「あなたの社会生活に最も大きい支障をきたすもの」と説明する。

**SP18.** （小冊子 13 ページ）これまでに、その恐怖が最もひどかったときのことを思い出して下さい。あなたがこうしたことに出会ったり、あるいは出会わなくてはならないかもしれないと思ったときに、これまでに 13 ページにあるような問題が、2つ以上ありましたか。

回答者が文字を読めなければ a~o のリストを読み上げる。

この質問の二つ以上~は「同時に」という意味である。

## 社会恐怖症 (SO)

このセクションでは日常における社会的または仕事上の恐怖症についての質問をする。恐怖症を正確に判断するために、これらの恐怖症が持続的で障害的である点に注意する。これらの症状の発現を訴える人には、その頻度・程度・生活に与える影響について、またこれら障害に対し専門家による治療などを受けているのであればその内容について質問する。

**SO9. (小冊子 15 ページ) 今までに (社会的恐怖) に直面したときに、このページに載っている症状が 2 つ以上ありましたか。**

回答者が文字を読めなければ a~o のリストを読み上げる。

**SO10. これまでに (この状況/これらの状況のうち一つ) で、パニックの発作が起こるかもしれないと恐れたことがありますか。**

**SO10a. これまでに (この状況/これらの状況のうち一つ) で、パニック発作を起きましたか。**

回答者がパニック発作の意味を質問するようであれば説明する。「パニック発作」は突然起こる恐怖・不安の発作である。

**SO14a. (状況/この状況/これらの状況) について、最も怖れていたことは何でしたか。**

回答者の回答を正確に完全に記録すること。回答者の状況において実際の危険因子の存在を研究者が知る上でこの回答は分析にとって重要なものとなる。この質問には率直で詳細な回答が要求される。

## 広場恐怖 (AG)

このセクションでは、家に取り残されたり家から一人で離れた時に感じる恐怖 (広場恐怖) についての質問をする。恐怖症を正確に判断するために、これらの恐怖症が持続的で障害的である点に注意する。これらの症状の発現を訴える人には、その頻度・程度・生活に与える影響について、またこれら障害に対し専門家による治療などを受けているのであればその内容について質問する。

**AG4d. パニック発作の恐怖が起こるかもしれないという恐怖はどうですか。**

回答者がパニック発作の意味を質問するようであれば説明する。「パニック発作」は突然起こる恐怖・不安の発作である。

**AG8a.** その事件や出来事のために、パニック発作が起きましたか？

回答者がパニック発作の意味を質問するようであれば説明する。「パニック発作」は突然起こる恐怖・不安の発作である。

**AG11.** (小冊子 17 ページ) これらの状況に直面したとき、あるいは直面しなければならなかったときに、これまでにこのページにある反応が 1 つ以上ありましたか。

回答者が文字を読めない場合、a~k のリストを読み上げる。

### 全般性不安障害 (G)

このセクションでは、日常に起こるさまざまな種の持続的不安の症状発現に関する質問をする。不景気下で仕事を失うのではないかとか、ガンの告知を受けて死ぬのではないかとか、予測のつかない特定の事象について異常に不安を感じる症状発現がある。これを正確に判断するためには、症状発現に複数の不安や広範囲の不安（例：「すべて」「特定できない」など）を含み、またいくつかの生理学的障害をも伴う点に注意する。これらの症状の発現を訴える人には、その頻度・程度・生活に与える影響について、またこれら障害に対し専門家による治療などを受けているのであればその内容について質問する。

**G1.** あなたはその間、どのようなことで心配、神経質、あるいは不安になりましたか。（具体例は 3 つの例まで確認すること）：他に何かありましたか。

特定の不安を考え出す前に、広範囲の不安について記録すること（すべて・特定できないなど）。広範囲の不安がいつ起こったのかを知ることが重要となる。

**G36.** 次に、あなたの「心配症」が、過去 12 ヶ月間に最もひどく、かつ回数多く、1 ヶ月以上続いた期間について思い出して下さい。その期間に、次のような気分や感情をそれぞれ経験したかどうかおききします。

a~g には緊張と興奮・驚愕・落ち着かない・パニック・心配・リラックスできる頻度・ひどいことが起こることへの恐怖などが説明されている。

## 間歇性爆発性障害 (IED)

このセクションでは憤怒発作に関する質問をする。スクリーニング部において威嚇・肉体的暴力・破壊行動などを引き起こす憤怒発作を回答者が認める複数の質問がある。最初の回答内容によって、質問内の語を適宜変える。このような発作を訴えた回答者には、発作の頻度・程度について質問する。国民の IED の原因や予防法についてはほとんど知られていない。この障害のデータを国が発表するのは本調査が最初となる。

スクリーニング部では3つの主幹となる質問がある (SC20.1・SC20.2・SC20.3)。IED3はこのセクションの導入部であり、3つの主幹質問への回答に基づいている。主幹質問において回答者がすべて「いいえ」と回答するのであればこのセクションには入らない。

### 自殺傾向 (SD)

自殺傾向に関するセクションは短く、自殺企図や自殺行動に関する質問がある。

(特定の QxQ なし)

### 物質使用 (SU)

このセクションでは日常におけるアルコールや薬物の濫用とそれに伴う障害についての質問をする。回答者にはこれらの障害の発症年齢と継続について、またこれらの障害に対処するために専門家に相談したかどうかについて質問する。

**SU3.** (小冊子 23 ページ) 過去 12 ヶ月間、1 杯以上のアルコールをふつうどのくらいの頻度で飲みましたか。—ほとんど毎日ですか、週に 3～4 日ですか、週に 1～2 日ですか、月に 1～3 日ですか、あるいは月に 1 回未満ですか。

回答者が「一度もない」と自発的に答えた場合、「月に 1 回未満」とする。

**SU28.** これまでに、これらの問題のうち少なくとも 1 つが起きた年を合計すると、全部でおよそ何年くらいになりますか。

必要であれば回答者に SU19 の問題のリストをみせる。

### サービス利用 (SR)

このセクションでは過去にまたは最近受けた精神的障害のサービス利用に関する質問をする。セクションのはじめでは、専門の種類を問う。平行する質問群ではこれまでの各専門治療について質問する。後の質問では、最初の治療を受けた年齢・治療の成果・過去の治療の詳細について質問する。

**SR12.** あなたは今までに、どのような専門家からでもよいですが、30分以上の心理カウンセリングや心理療法を受けたことがありますか。

30分未満のカウンセリング等は除外する。ここでは専門家が正規の治療カウンセリングを行ったのか、単に回答者を励ます言葉をかけたかだけなのか、単に回答者の心の健康上の懸念を聞いたかだけを分別する。

**SR13.** あなたは今までに、自分の気分や心の健康のために、専門家から処方や投薬を受けたことがありますか。

簡単な薬剤の推奨だけでは不十分である。医師が患者に処方箋を記入したか薬剤を投与したかの必要がある。

**SR110.** 次の質問は、あなたが過去12ヶ月間に受けた、自分の気分や勘定に関する問題のための治療にかかった費用についてです。あなたとあなたの家族が、診察、薬、検査、治療に関するサービスのために支払ったものを全て含めてください。保険から支払った費用、あるいはこれから戻ってくるお金は含めないで下さい。あなた（とご家族）は、過去12ヶ月間に気分や感情の問題のために、おおよそいくらお金を払いましたか。

子供・配偶者などの治療に回答者が支払った分は計算に入れない。回答者自身の治療にかかった分のみ計算に入れる。複数の治療や回答者も参加した家族全体の治療などにかかった分は計算に入れる。

#### 薬剤疫学 (PH)

このセクションでは、過去12ヶ月間の向精神薬投与（心理状態・気分転換に有効なもの）に関する質問をする。まず薬の名称についての情報を質問する。その後、10の薬剤までについて服用目的・服用期間・一日の投与量・中止理由などの詳細を質問する。

**PH1.** つぎの質問はあなたが飲んだお薬に関するものです。過去7日間に処方された薬を何種類、服用しましたか。

経口避妊薬が処方されていた場合は、これも含む。回答者が他からの処方薬も服用していると言うのであれば、これも計算に入れる。

**PH15.** あなたは薬を医療の専門家の指示に従って使用して（いましたか/いますか）。あるいは、医療の専門家の指示なしで、自分で使用して（いましたか/いますか）。

この質問で回答者が薬を医者処方してもらったと、はっきり言わない場合（他人、例えば臨床看護婦の「推奨」などであっても）、コードを1とすることにより正確には誰が処方箋を書いたかが PH16 で記録される。

#### 人格 (PEA)

このセクションでは、感情・精神の安定・自信など個人の人格に関するさまざまな問題について正誤式の質問をする。

ここでの各質問では、回答者が最初に思いついたものを、あまり長い時間をかけずに回答するように説明する。さまざまな状況によって回答は異なる：回答者の一般的な行動や感覚を注意深く記録することが重要である。

(特定の QxQ なし)

#### 外傷後ストレス障害 (PT)

外傷後ストレス障害のセクションでは、回答者の過去の精神的な外傷経験やそれに対する反応についての質問をする。ほとんどの人々は日常生活において非常に多くの精神的な外傷を受けていることから、回答者には複数の精神的な外傷の中からこれまでで最も重かったものを選んでもらい、それに対する反応についても質問する。また、特定の精神的な外傷に対する反応について調べるために、部分集合に無作為の精神的な外傷を選出する。また、面接前 12 ヶ月における精神的な外傷に関する特殊な質問も行う。

**PT2.** いままでに戦争地帯で、あるいは政治・民族・宗教、他の争いのためにテロが横行している場所で、平和維持活動 (PKF) あるいは、救援隊として従事しましたか。

平和維持活動とは、敵対するグループ間で監視する、あるいは停戦を施行するために国際組織、政府あるいは軍事組織で働いている人のことである。

**PT7, PT35.** 今までに重大な害を引き起こす有毒な化学薬品や物質にさらされたことがありますか。

大気汚染・地球温暖化・オゾン層破壊などによってすべての人々が毒物を浴びせられていると答える回答者がいる。これらの回答は「いいえ」とする。この他、そのようなことがあったが不確かであると答える回答者もいる。これらの回答も「いいえ」とする。厳密に毒物を浴びた（照射された）と考えられない場合以外は「はい」としないこと。

**PT8, PT36.** 今までに命にかかわるような自動車事故にあったことがありますか。



「事故に遭う」とは回答者が歩行中または自転車に乗っているなど部分的に事故の責任を負っている場合も含む。しかし、回答者が単に事故を目撃したり、視察したり、事故後にその場で救助活動に参加したなどの場合は「いいえ」とする。目撃したという回答者は PT21/49・PT23/51 または PT27/55 にコードする。

**PT10, PT38.** 今までに大洪水、ハリケーン、あるいは地震のような大きな自然災害に巻き込まれたことがありますか。

回答者が負傷していなくても災害時にその場にいあのであれば「はい」とする。しかし、単に災害後に視察したとか、救助活動を行ったという場合は「いいえ」とする。これらの経験は他の項目で質問される。

**PT18, PT46.** 強姦の他に、いままでに性的暴行やいたずらをされましたか。

性的暴行とは、見知らぬ者または家族・友達を含む顔見知りの者に、自分の意に反して、または同意なく身体の性的な部位に触れたり、触れさせたりさせることである。

**PT20, PT48.** いままでにあなたととても親しい人が、事故、殺人、自殺、あるいは若くしての致命的な心臓発作などで、思いがけずに亡くなりましたか。

老衰や既知の心臓疾患による発作などの突然死は除外する。

**PT22, PT50.** いままでにあなたととても親しい人が、誘拐されたり拷問されたり強姦されたりといったような、ひどい心の傷になるような経験をしましたか。

例はあくまで回答者に「ひどい心の傷」の意味を理解してもらうためのものである。回答者がこれ以外の出来事について、何をもって心の傷とするのかと質問してきた場合、回答者自身がひどい心の傷と考えるものはすべて該当すると答える。

**PT24, PT52.** いままでに事故で他人に重傷を負わせたり、死なせるようなことをしてしまったことがありますか。

この質問では具体的な原因を質問している。広義の哲学的回答、例えば「私が慈善募金を払わなかったことによって、どこかの貧窮した子供が死んでいるはずである」というような回答は「いいえ」とする。

**PT28, PT57.** 面接では話したくない経験もあります。こうしたことを述べるよう無理にお願いはしませんし、それが何かを話

**す必要はありません。これまでに、話したくなかったから話さなかったような、心の傷になるような出来事を経験しましたか。**

これらの質問では、回答者が具体的に話したくない経験について聞くこととなる。これらは回答者の「プライベートな出来事」であり、具体的に内容を聞いたりほしくない。「まだ報告していない」という部分は面接において話していないという意味であり、その出来事を警察や諸機関に報告していないという意味ではない。

**PT30. いままでに戦争地帯で、あるいは政治・民族・宗教、他の争いのためにテロが横行している場所で、平和維持活動(PKF)あるいは、救援隊として従事しましたか。**

ここでは精神的外傷に関するいくつか重複した質問が聞かれる。従って括弧内で「これまでに回答したもの以外で」という但し書きを付け足すことが重要となる。回答者が既に言及した回答についてはコードを「いいえ」とすること。例えば、ボスニアの内戦で赤十字のスタッフとして(戦地での救済活動)とPT30で報告した回答者は、おそらくPT31(戦地の市民)で同様の経験を言及するであろう。このような場合、PT31での重複した言及については「いいえ」とする。これらはPT21/49とPT25/53などでも同じ事が言える。

経験した出来事が時間・期間的に区別できるのであれば、多少の時間的重複があっても別々の出来事としてコードする。

**PT38. 今までに大洪水、ハリケーン、あるいは地震のような大きな自然災害に巻き込まれたことがありますか。**

回答者の中には質問をよく聞かずに人的災害について言及するものもいる。人的災害については次の質問で問われることに注意する。

**PT39. 今までにタバコによる火災、あるいは爆弾の爆発のような人災にあったことがありますか。**

PT38と同様、面接員は自然災害と人的災害は別々に質問することをよく理解しておくこと。回答者が毒性化学物質を浴びたことを回答した場合は個々に記録せずにPT35に記録すること。

**PT50. いままでにあなたととても親しい人が、誘拐されたり拷問されたり強姦されたりといったような、ひどい心の傷になるような経験をしましたか。**

回答者が最初にこの出来事を知った日付を記録する。

**PT55a.** 簡単にまとめると、その中で最もひどい心の傷になるような出来事は何ですか。

ここでは回答者が新たに報告したものを記録すること。すでに報告したものを詳しく説明させる必要はない。

**PT55b.** (もし必要なら：これは1回限りの出来事でしたか、それとも数日間、数週間、数ヶ月間あるいは数年の期間にわたって続きましたか。)

この質問への回答はPT55での回答によって明白にわかることなので、その場合は質問せずに直接該当するコードを記録する。

**PT55c.** (もし必要なら：(\*PT55aの出来事/これが)あった時、あなたは何歳でしたか?)  
(もし必要なら：そのことを初めて知った時、あなたは何歳でしたか。)

回答者自身にその出来事が起きたのであれば、その時の年齢を質問する。その後しばらくたってから精神的外傷を受けたのであれば例外とする。例えば、回答者は、故郷の町に住む者全員が泳いだことのある湖で致命的な毒性化学物質を浴びた可能性があるとして40歳になってから知らされたなどの場合。このような例の場合、回答者がいつ、湖が汚染されていたと最初に知らされたについて質問すること。

精神的外傷の原因となる出来事が自分以外にある場合(例：誰かの娘が強姦されたことを知ったなど)、回答者が最初にその出来事を知った日を記録すること。

**PT62.** イントロ2：確認します。あなたは(出来事のキー・フレーズ)を経験しました。このような経験の後には、時に、記憶や夢に気持ちをかき乱されたり、他人がよそよそしいと感じたり、気分が沈んだりと感じたり、睡眠や集中力に問題があったり、びくびくしたり、すぐ驚いたりといったような問題が起きることがあります。(出来事/これらの経験)の後、こうした問題がありましたか。

この質問では明確な考えが重要となる。回答者が理解しづらいようであれば、質問を繰り返しゆっくりと読むこと。

**PT64-64b** (出来事)のうち、どの出来事のために、こうした問題が一番多くおきましたか。

この質問では、回答者に一番の障害の原因となった出来事を質問する。必要であれば、回答者が答えた出来事のリストやPT62に戻ってPTSDのリストを見直してもよい。「最悪の出来事」を、その時の回答者の年齢と、それが何回目の出来事であったのかとともに記録する。どの出来事が最も大きな障害の原因となったか回答者がわからないようであれば、最近の出来事を選ぶ。

回答者に障害の原因となった2つ以上の出来事があり、どれも等しく障害を引き起こした場合、回答者に最も多くの障害を引き起こした最近の出来事について話してもらおう。そのため「わからない」という回答の詳細を尋ねる時、「中でも特に動揺した出来事は？」という表現を使う。

**PT67.** 「今も続いている」出来事なら：（出来事）が繰り返しおきたときは、おびえたりとても怖かったりしましたか。  
「その他の出来事」なら：（出来事）の時、あなたはおびえたり、とても怖かったりしましたか。

その経験が継続して起こっていたものなのか（例：回答者が子供の頃、数ヶ月に渡って親に繰り返し虐待を受けていた）、たった一回の出来事だったのか（例：自動車事故）、その状況によって面接員はどちらの言い回しを使うか決める。戦場の兵士だったというように、一回の状況でも一定の期間があった場合、別の言い方を使う（「その時、脅えや恐怖を感じたりしましたか？」など）

出来事に対する反応について質問する時、面接員はその経験を指すのに名前を使ったり（例：「その事故」）、または総称的に「その出来事」や「その経験」という言い方を「最悪の出来事」の部分に当てはめて使う。また面接員は、強姦のように極端に思い出したくない出来事について質問する際、「強姦」という語を何度も何度も繰り返して使わないように心に留めておくこと。しかし、場合によっては質問上の混乱を避けるため、出来事や経験を名前で指す必要もある。回答者が混乱しているようだったり、総称を使わない方が良い場合など、臨機応変に判断する必要がある。

**PT68.** （その出来事の/この経験が終わった/最悪の出来事の）後の、何週間、何ヶ月間、あるいは何年間、（それ/起こったこと）についてできるだけ考えないようにしましたか。

この質問と後の質問において面接員は、回答者の出来事について言及する時、「その出来事」・「この経験」・「それ」または出来事の名前のうちいずれかを使う。これらの出来事は感情的なものなので、このように選択の幅を設けてある。特定の出来事を指す際、一番適切と考えられる語を臨機応変に判断すること。

**PT70.** （その出来事の/この経験が終わった/最悪の出来事の）後の何

**週間、何ヶ月間、あるいは何年間かの間、おこった出来事の、  
大事な部分をいくつか思い出せないことがありましたか。**

この質問では、回答者がこれまでに出来事の重要な部分について心理的な記憶喪失にかかったかどうかを質問する。回答者が脳に傷害を受けたことにより意識を失い、記憶喪失となった場合は除外する。回答者が自発的に「気絶した」また「気を失った」と言うのであれば、コードは「いいえ」とする。

**PT118. (PT119またはPT120) あなたは(何歳)の時に、  
[\*PT59で記録した出来事]があったといたしました。次からの  
質問は、その経験についてです。**

回答者が他の出来事(例:もっと重大な出来事)について話したいようであれば、「この研究調査では、回答者の経験した出来事一つを完全に無作為に選んで質問します。それは回答者が私たちに話したいと思っているものと必ずしも一致しませんが、規定されたプロセスに沿って面接を行うことが重要です。これが、あなたにとって重大な出来事ではなかったということはわかりました。そのことだけ記録させていただきます」と説明する。

**PT121a. はじめに、この出来事が、あなたが経験したその他の出来事に、何らかの点で関連しているかどうかうかがいます。  
「関連している」とは、(無作為の出来事)とその他の出来事が、同じ1つの出来事の一部だったり、または一方が他方の原因になるような場合です。あなたが経験した(全ての)出来事を思い出してください。これらは(無作為の出来事)と関連していましたか。**

このチェックポイントは、報告された出来事のうち一つでも無作為の出来事と「つながり」があるのではないかという質問、つまり他の出来事が同じ経験の一部であったのか、それとも他の出来事によって引き起こされたのであるかという質問に関するものである。出来事の間につながりがないようであれば、面接員は無理に詳細を尋ねる必要はない。

**PT125a. もし必要なら：誰(が死ぬところを見たの)ですか。**

回答者が自発的に話すのであれば、その人のタイプの番号だけ記録する。無理に詳細を知ろうと尋ねたりしない。

**PT126. もし必要なら：その間、あなたと親しい(その他の)人が  
思いがけず突然亡くなりましたか。**

ここで質問している死亡とは、出来事に関係のある死亡であること。回答者が亡命者であったり、89歳の老婆であったり、家で心臓発作で亡くなったというような場合は「いいえ」とする。

**PT126a. もし必要なら：それは誰でしたか。**

回答者が自発的に話すのであれば、その人のタイプの番号だけ記録する。無理に詳細を知ろうと尋ねたりしない。

**PT127a. もし必要なら：その期間の間あなた、あるいはあなたと親しい（他の）人が重大な危害を加えられたり監禁されたりしたことがありますか。**

回答者が自発的に話すのであれば、その人のタイプの番号だけ記録する。無理に詳細を知ろうと尋ねたりしない。

**PT129. もし必要なら：（無作為の出来事）はどこで起こりましたか。**

回答者が亡命者であれば、擁護を受けた国ではなく、どこの国から来たのか記録する。

**PT148a. もし必要なら：誰ですか。**

回答者が自発的に話すのであれば、その人のタイプの番号だけ記録する。無理に詳細を知ろうと尋ねたりしない。

**PT149a. もし必要なら：誰ですか。**

回答者が自発的に話すのであれば、その人のタイプの番号だけ記録する。無理に詳細を知ろうと尋ねたりしない。

**PT156a. もし必要なら：（無作為の出来事）の際、誰が死ぬのを見ましたか。**

回答者が自発的に話すのであれば、その人のタイプの番号だけ記録する。無理に詳細を知ろうと尋ねたりしない。

**PT157a. もし必要なら：誰ですか。**

回答者が自発的に話すのであれば、その人のタイプの番号だけ記録する。無理に詳細を知ろうと尋ねたりしない。

**PT158a. もし必要なら：誰ですか。**

回答者が自発的に話すのであれば、その人のタイプの番号だけ記録する。無理に詳細を知ろうと尋ねたりしない。

**PT269.** (これらの出来事/これらの経験) に対するあなたの反応が最も回数多く、かつ激しかった、過去12ヶ月のうち30日の期間を思い出してください。その1ヵ月の間には、あなたが以前は楽しんでいたことに興味を失いましたか。

この質問では、回答者の出来事が「これらの出来事」である場合、「これらの出来事」と言うより回答者の口から出た言い方を使った方が良い。

### 慢性疾患 (CC)

このセクションでは、過去・最近における身体的欠陥や障害についての質問をする。回答者は、これまでにかかった複数の慢性疾患や健康上の問題についてと、過去12ヶ月間にそれらの症状に対して何らかの治療を受けたかについて質問される。

これらの病状が回答者にとって何を意味しようと、医師によって診断されたものである必要はない。補足のフォローアップ質問では、過去12ヶ月間に治療を受けた症状一つについて質問する。症状が複数ある場合は、無作為に選んだ症状をフォローアップ質問に選ぶ。睡眠障害については過去12ヶ月間に診断されたものに限る。

このセクションの終わりでは、健康保険の補償と専門家への相談に関する回答者の見解についての質問がある。

**CC1c.** 頻繁にある頭痛、あるいはひどい頭痛はどうですか。

回答者が「片頭痛」と回答した場合、「はい」と入力する。

**CC1e.** 花粉症などのような季節的なアレルギーはどうですか。

回答者がアレルギーについて回答するものは何でも、「はい」と入力する。

**CC1r.** エイズあるいは HIV ウイルスへの感染はどうですか。

HIV はヒト免疫不全ウイルスの意。AIDS は後天性免疫不全症候群の意。

**CC9.** 過去12ヶ月間に、(無作為に選んだ症状) のために何回、医師やその他の専門家に診てもらいましたか。

回答者が、この症状は自分の話したい症状ではないと言う場合、「この研究調査では、回答者の経験した病状のうち、1つを完全に無作為に選んで質問します。それは回答者が私たちに話したいと思っているものと必ずしも一致しませんが、規定されたプロセスに沿って面接を行うことが重要です。これが、あなたが最も関心を持つ病状ではないということはわかりました。そのことだけ記録させていただきます」と説明する。

**CC15.** その頭痛は普通、1日に何分あるいは何時間くらい続きましたか。

1日以上続くと答えた場合、それを時間に換算する。（例：3日間＝72時間）

### 30日間の機能 (FD)

このセクションでは、過去30日間において回答者の日常生活に支障を与えた健康上の問題の程度について質問する。前のセクションでは特定の障害によって引き起こされる支障について質問したが、このセクションでは回答者の身体的・精神的障害すべてを統合したものによる総合的な支障について質問する。

（特定の QxQ なし）

### 30日間の症状 (NSD)

このセクションでは、面接前30日間に回答者が経験したさまざまな身体的・精神的症状の頻度に関する質問をする。また過去30日間において回答者が経験した異状についても質問する。

**NSD4g.** 自分の行動を命令したり、批評したりする声が頭の中から時々きこえてくる人も中には居ます。過去30日間に、あなたはどのくらいの頻度で、そのようなことを経験しましたか。

この質問は回答者本人にしか聞こえない声についての質問である。

### 雇用状態 (EM)

このセクションでは回答者の仕事経験、また必要であれば回答者の配偶者/パートナーについても質問する。

**EM1.** 次からはあなたのお仕事に関する質問です。あなたが初めて常勤、パートタイムを問わず、6ヶ月以上、収入を得るための仕事についた年について思い出して下さい。あなたはどの時何歳でしたか。（思い出せる範囲で結構です。）

無償での仕事は対象とならない。



**EM4.** 最初に6ヶ月以上働いた時から、現在まで数えると、あなたが給料をもらって働くということを、しなかった期間のうち、一番ながい期間はどれくらいでしたか。

全日制の学生や退職は例外とする。これまで継続して働いている回答者にはEM6は質問しない。

**EM8.** あなたの現在の雇用状況はどうですか。給料をもらって働いていますか、自営業ですか、仕事を探していますか、働くことができない状態ですか、一時的に休業中ですか、退職しましたか、主婦ですか、全日制あるいは定時制の学生ですか、あるいはこれ以外ですか。

これは回答者の労働状況を測る標準的な質問である。この質問には複数の回答が可能である。無職・休職・退職・主婦・学生と回答した者はEM11でさらに他に仕事をしていないか質問される。

「一時的な休業」とは、職場が一時的に労働者の削減を行い、今後労働者が必要となる場合には回答者が呼び出されるというような状況を指す。季節的変動のある建設業界や期間的な変動のある組立ライン工場などでは一時的な休業がよくある。一時帰休とよばれることもある。

**EM15.** あなたは普段どんな仕事をしていますか。あなたの仕事は何と呼ばれていますか。

主な仕事とは、一番時間を費やしている仕事を意味する。回答は、回答者が述べた通りにメモ(F2)に記入すると同時に、国際標準職業分類(ISCO)に沿ってコードする。ISCOの大分類(コードの1桁目)では、職業を分類する基準は、その職業に必要とされる技術の水準、仕事を行う上で必要な教育(大卒や専門教育など)、仕事に対する責任などであり、一般的には技術水準の高い、教育年数の必要な、責任の多い仕事ほど小さな数字(1, 2, 3など)で表されている。回答者本人の教養のレベルとは必ずしも関係ない。国際標準職業分類(ISCO)の概要の説明を付録に示すので、一度目を通しておくこと。

**EM16.** あなたはどんな場所で働いていますか。そこでは何を(作って/して)いますか。

回答者の業種に関する質問であり、この回答もISCOに沿ってコードされる。回答者の会社名については聞かず、どのような種類の職場で働いているのか、工場なのか商社なのか、そしてどのようなものを生産したり販売したりしているのかについて質問する。

**EM17.** あなたは、週平均だいたい何時間働いていますか。

回答者の収入ではなく回答者の労働時間を聞く。また週平均という部分を強調する。

**EM19. あなたは普段どんな仕事をしていましたか。あなたの仕事は何と呼ばれていましたか。**

回答者の主な仕事とは、回答者が最も時間を費やしている仕事のことである。この質問には普段の仕事や定職という意味ではなく、過去の仕事という観点から回答させる（もし異なる場合）。ISCOの大分類（コードの1桁目）では、職業を分類する基準は、その職業に必要なとされる技術の水準、仕事を行う上で必要な教育（大卒や専門教育など）、仕事に対する責任などであり、一般的には技術水準の高い、教育年数の必要な、責任の多い仕事ほど小さな数字（1, 2, 3など）で表されている。回答者本人の教養のレベルとは必ずしも関係ない。国際標準職業分類(ISCO)の概要の説明を付録に示すので、一度目を通しておくこと。

**EM20. あなたはどんな場所で働いていますか。そこでは、何を作ったり、したりしていますか。**

回答者の勤務先の業種もISCOに沿ってコードされる。回答者の会社名については聞かず、どのような種類の職場で働いていたのか、工場なのか商社なのか、そしてどのようなものを生産したり販売したりしていたのかについて質問する。

**SE7. あなたの（配偶者）は最近どんな仕事に就いていましたか。すなわち、（配偶者）の仕事は何と呼ばれていますか。**

配偶者の主な仕事とは、配偶者が最も時間を費やしていた仕事のことである。ISCOの大分類（コードの1桁目）では、職業を分類する基準は、その職業に必要なとされる技術の水準、仕事を行う上で必要な教育（大卒や専門教育など）、仕事に対する責任などであり、一般的には技術水準の高い、教育年数の必要な、責任の多い仕事ほど小さな数字（1, 2, 3など）で表されている。

**SE8. あなたの（配偶者）はどんな場所で働いていましたか。そこでは、何を作ったり、したりしていましたか。**

勤務先の業種についての質問への回答もISCOに沿ってコードされる。配偶者の会社名については聞かず、どのような種類の職場で働いていたのか、工場なのか商社なのか、そしてどのようなものを生産したり販売したりしていたのかについて質問する。

**SE9. あなたの（配偶者）はどんな仕事に就いていますか。すなわち、（配偶者）の仕事は何と呼ばれていますか。**

配偶者の主な仕事とは、配偶者が最も時間を費やしている仕事のことである。ISCOの大分類（コードの1桁目）では、職業を分類する基準は、その職業に必要とされる技術の水準、仕事を行う上で必要な教育（大卒や専門教育など）、仕事に対する責任などであり、一般的には技術水準の高い、教育年数の必要な、責任の多い仕事ほど小さな数字（1, 2, 3など）で表されている。

**SE10. あなたの（配偶者）はどんな場所で働いていますか。そこでは、何を作ったり、したりしていますか。**

勤務先の業種についての質問への回答も ISCO に沿ってコードされる。配偶者の会社名については聞かず、どのような種類の職場で働いていたのか、工場なのか商社なのか、そしてどのようなものを生産したり販売したりしていたのかについて質問する。

#### 経済的状態（FN）

このセクションでは、回答者の経済的状態についての質問をする。過去12ヶ月のすべての収入源や回答者の総資産（妥当であれば配偶者・同棲者の分も合わせる）について聞く。

**FN2INTR1-2. 以下の質問は、あなたの収入に関するものです。全ての質問について、55 ページにある記号を使用して回答してください。過去12ヶ月間に、あなた自身が個人的に稼いだ収入はいくらですか(税金が引かれる前の金額)。**

無職の配偶者・同棲者の中には、その配偶者・同棲者の収入に関する質問を明らかにすることが特に重要となる者がいるかもしれない。しかしこの質問では、ゼロという可能性もある、彼ら自身の個人的な収入について質問している。これは配偶者の収入をあてにしている回答者には少々気まずい質問かもしれない。

**FN5. 過去12ヶ月間に、あなたの（配偶者/同棲者）がかせいだ、税金を引かれる前の収入はいくらですか。**

過去12ヶ月間に一人以上の配偶者/同棲者がいた場合、最近の配偶者/同棲者の収入について答える。

**FN7. 過去12ヶ月間に、同居しているほかの家族が稼いだ、税金を引かれる前の収入を全て合わせた収入はいくらですか。**

一時的に同居していた家族も計算に入れる。

**FN12. あなたと（配偶者/同棲者）が、あなた（たち）の小切手や預金口座、株式と債権、不動産を全てお金に変えて、家、**

車など価値ある財産を全て売却すると仮定します。そして、そのお金を借金やローンの返済にあてるとします。負債を返済した後でも、財産は残りますか。それとも、まだ借金が残りますか。

この質問は、回答者の全財産を現金にして借金などを返済した際、お金が手元に残るかという質問である。

### 結婚 (MR)

このセクションでは、回答者のデートと結婚歴についての質問をする。また、デートと結婚生活における暴力についても質問する。結婚している回答者の部分集団には結婚の質に関する質問をする。

**MR1.** 次のいくつかの質問はデートに関するものです。ここでのデートとは、誰かと一緒に出かけたり恋に夢中になって、深い仲になったりすることを指します。1回デートしただけのものでもかまいませんし、性行為を含む必要もありません。この定義を覚えておいてください。初めてデートをしたのは何歳のときでしたか。

デートには必ずしも性的行為を伴わなくても構わない。

**M5.** このリスト A にあるようなことを、デートをしたその（人数）のうちの何人に、したことがありますか。

一度でも行えば計算に入れる。

**M6.** リスト A にあるようなことを、あなたがこれまでにデートした（人数）のうち何人からされましたか

一度でも行為を受ければ計算に入れる。

**M7.** リスト B にあるようなことを、あなたがこれまでにデートした（人数）のうち、何人にしましたか。

一度でも行えば計算に入れる。

**M8.** リスト B にあるようなことを、あなたがこれまでにデートした（人数）のうち何人からされましたか

一度でも行為を受ければ計算に入れる。

**MR10.2.** このリスト A にあるようなことを、デートした人に、あなたがしたことがありますか。